



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 参加医療機関が増えることによって、県民が医療連携による質の高い医療をどこの地域からでも受けることが可能になる。

指標	指標名	参加医療機関数						指標の種類	
	指標式	施設数						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a		15	65	115	165	195	200	
	実績b		15	データ等の出典					
	東北 全国		県医務薬事課調べ						

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 05月 翌々年度 月

指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a								
	実績b		データ等の出典						
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由  
 \_\_\_\_\_  
 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)  
 \_\_\_\_\_

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 県内の医療を取り巻く様々な問題の解決策として、限られた医療資源の有効活用と併せて医療連携を推進することは不可欠であり、医療連携ネットワークはそれらの状況を改善、解消できるツールの一つとして、県医師会や関係者等から期待されている。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 (このネットワークの参加医療機関が県内に十分に増えていった場合) 県内どこに住んでいても、安全安心な質の高い医療、高度先進医療の恩恵が受けられることになると考えられる。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県内全域のネットワーク基盤として県医師会との協力のもと維持運営していく必要があること。情報を安全管理する必要から対外的に県医師会の設置する運営委員会等は第3者で構成する必要があり、県も関与していくこととしている。2次医療圏を越えた医療連携も想定しているため、県が関与していくことが妥当である。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 其他